

食器洗い機設置・施工手順書 設備編

本体横幅	標準ドア装備	ドア面材取付専用	オールドア(全面)面材取付専用
	品番	品番	品番
45cm	G 4501 SCu G 4600 SCu	G 4501 SCi G 4600 SCi	G 4570 SCVi G 4670 SCVi
60cm	G 5100 SCu G 5600 SCu	G 5100 SCi G 5400 SCi G 5600 SCi G 5910 SCi	G 5670 SCVi

特定保守製品に関するお願い

- 本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
- 特定保守製品とは「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適切なものとして政令で定めるもの」です。
- 付属の説明書と所有者票は、必ず特定保守製品取引事業者またはお客様（消費者、賃貸業者等の所有者）にお渡しください。
- 消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は製品の製造・輸入事業者（特定製造事業者等）に対して、所有者情報を提供する責務が定められています。

- 本手順書では、人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 設置・施工において、本手順書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。
- お客様による設置工事は危険です。建物を傷めたり、ケガのおそれがあります。据付設置は、必ずお買い求めの販売店または指定サービス店にご依頼ください。

ミーレ・ジャパン株式会社

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-24-12オリックス目黒ビル4階
電話(03)5740-0030

商品の詳細・ご購入は、ミーレオンラインページ

<http://store.miele.co.jp/>

またはミーレ・カスタマーサービス（通話無料）までお問い合わせください。

ミーレ・カスタマーサービス

固定電話：0120-310-647(フリーダイヤル)

■受付時間 月～金 9：00～17：00(土日・祝祭日休業)

DW-eqp-130627

安全上のご注意

本手順書では、次のマークの箇所で人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある」内容です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある」内容です。



- 本製品は「消防法 告示第一号(対象火気設備等及び火気器具等離隔距離に関する基準)に適合しております。建築物の可燃物等からの距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。
- 本製品は、一般財団法人日本ガス機器検査協会により『給水装置の構造及び材質の基準(厚生省令)』に適合するとの証明を受けています。このため、給水装置への接合に際し、逆止弁等の設置は必要ありません。

消防法 基準適合 組込形			
可燃物からの離隔距離(mm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	(開放)	10

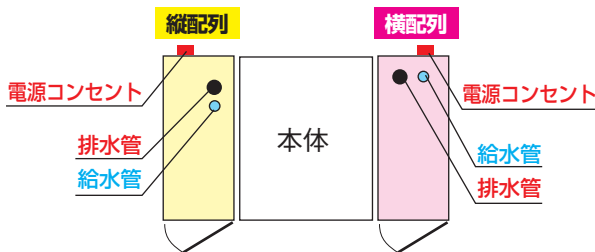
お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。





実行しなければならぬ内容です。

水道水圧:作動水圧1.0~10kg/cm²
(0.1MPa~1MPa)の範囲かをご確認ください。

- 本製品は全てポンプによる強制排水方式です。排水管は必ず300mm以上(HT40の場合)、または400mm以上(HT20の場合)立ち上げてください。
- 給水管は電磁弁付給水ホースを上向きに取り付けるため、床もしくは直下の装置・造作等から400mm以上を確保して下さい。
- 電源、給・排水設備は隣接する場所に設けてください。(本手順書3~5ページをご参照ください。)



- 給水バルブはユーザーが容易に操作できる位置・向きに取り付けてください。

- 設置床面は水平・平坦にし、後で本体を手前にひきだせるようにしておいてください。(段差をつけないでください。)
- 本体の金属部分が、家屋の金属板や流し台のステンレス板に電氣的に接触しないようにしてください。漏電した場合、火災の原因になります。(法令:電気設備の技術基準第167条・平成13年)
- 給・排水工事はすべて水道法、建築基準法、および貴都市の条例、規定に準じて行ってください。
- 電源:単相200V 専用コンセント アース付
パナソニック WKS294 (露出型)  相当品
パナソニック WTF19324WK (埋込型)  相当品

※D種接地工事を必ず行ってください。

- 万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器を必ず取り付けてください。(法令で規定)



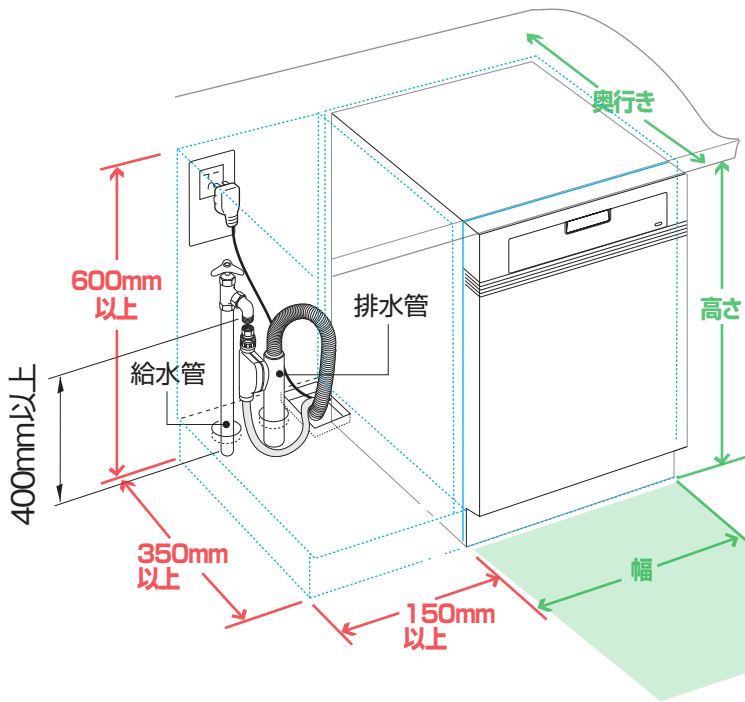
してはいけない内容です。

- 本製品はいずれも家庭用機器です。業務用には使用しないでください。
- 電源コードを切断、および直結することは絶対にしないでください。電源コンセントはそれぞれの機器に単独で、専用に設けてください。
- 本製品は寒冷地仕様ではありません。凍結の恐れがある場所(室温0℃以下)には設置しないでください。

- 井戸水、温泉水、地下水の使用はしないでください。(故障の原因)
- 水場や浴室など、湿気の多い場所に設置しないでください。(感電・火災のおそれ)
- 直射日光が当たる場所、窓や換気扇のない場所に設置しないでください。

設置場所の確認

●本機設置時は、下図の設置寸法をお守りください。(離隔距離0cmは消防法基準に適合)



本体ビルトイン寸法

奥行き	580mm以上
幅	450mm、または600mm以上
高さ	810~875mm

給水(湯)・排水・電源の設備スペース

奥行き	350mm以上
幅	150以上
高さ	600mm以上

ビルトイン後も製品メンテナンスのため、本機の前面に750mm以上のスペースを確保して下さい。

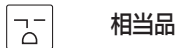
★上図は、設備スペースを縦配列にした場合の例になります。詳細は「配管例」(4~5ページ)をご確認下さい。

電気工事

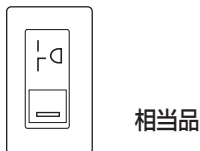
●電気工事、アース工事は、すべて電気工事士の有資格者が、電気設備の技術基準に準じて行って下さい。

■ブレーカー付单相200V・20A専用回路(アース付)

露出型 パナソニック WKS294



埋込型 パナソニック
コンセント
プレート WTF19324WK
プレート WTF7003W



※D種接地工事を必ず行ってください。

■漏電しゃ断器について



配線部の異常発熱防止や万一の安全のため、漏電しゃ断器を設置してください。

※主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合には、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。

推奨品 住宅分電盤用小型漏電ブレーカー品番
BJS203(パナソニック)
定格電流20A・感度電流30mA(AC100-200V両用)

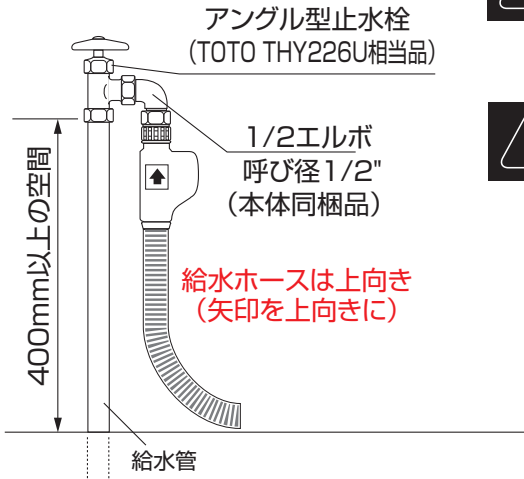
●コンセントは、水滴が飛ばないように、床から500mm以上の位置に取付けて下さい。

●ホコリを蓄積させないように、ユーザーがプラグを抜き差しできる位置に取付けて下さい。

給水・排水工事

●本機は配管直結タイプのため、設計／施工工事の段階で、給水・排水の位置決りを正確に行ってください。

●給水管：1/2"止水栓付き
床面から400mm以上の空間



接続前に、必ず止水栓を開いて水を出してください。
(配管内にたまったゴミの洗い流しと、エア（気泡）抜きのため）



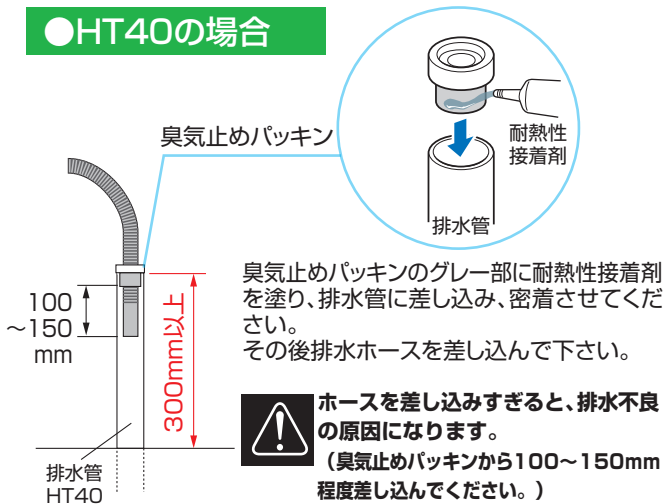
電磁弁付き給水ホースのため、最低400mmの空間を確保してください。

—お願い—

45℃から 60℃に温度を保つことのできる温水設備の場合、給湯での接続も可能ですが、汚れ落ちや水圧等の点から、給水での接続をおすすめします。

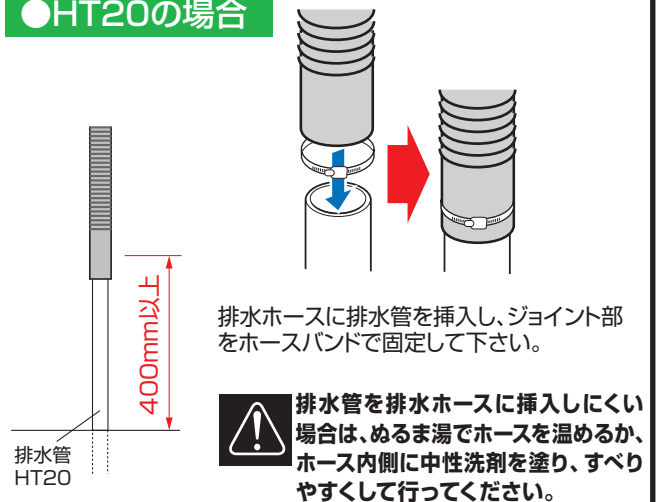
●排水管：耐熱塩ビ40φ (HT40相当)
床面から 300mm以上立ち上げ

●HT40の場合



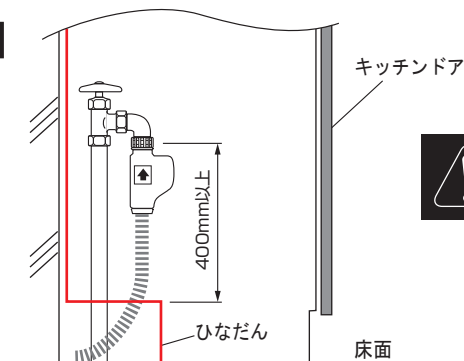
●排水管：耐熱塩ビ20φ (HT20相当)
床面から 400mm以上立ち上げ

●HT20の場合



造作（ひなだん等）との空間確保（例）

断面図



給水管高さは400mm以上の空間をとってください。
ひなだん等がある場合は、その高さをプラスして、
上面より400mm以上とってください。

配管例（横配列の場合）

本体のビルトインと、所要設備のスペースのキャビネット加工・開口

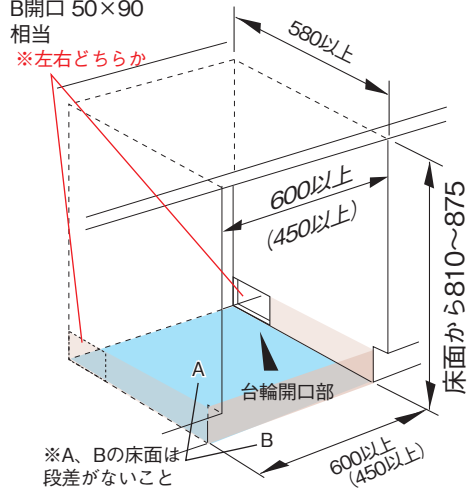
※本体高さは805～870mmの調整が可能です。

※（ ）内の寸法は、機器横幅45cmタイプの所要スペース幅です。

本体のビルトイン部のキャビネット

B開口 50×90
相当

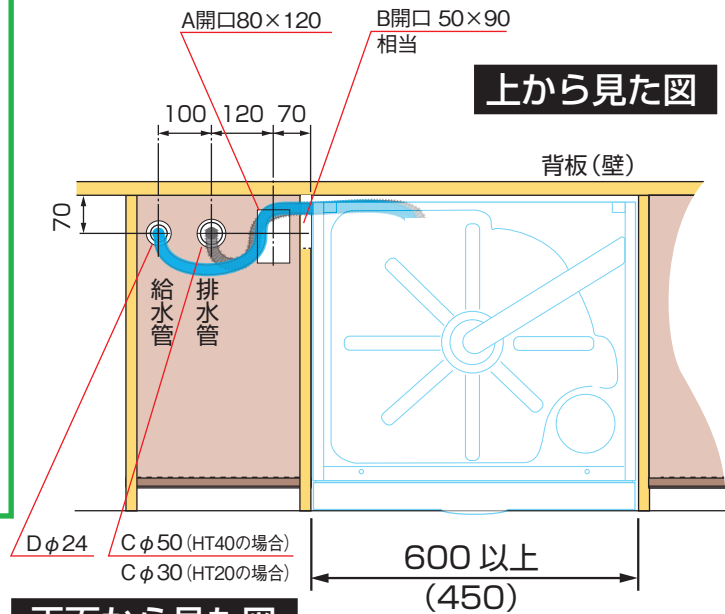
※左右どちらか



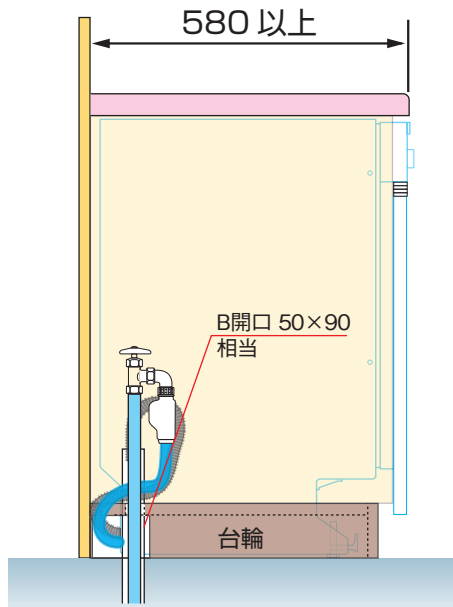
単位：mm

- A - 給排水ホース・電源コード通し穴
- B - 給排水ホース・電源コード引き込み穴
- C - 排水管通し穴
- D - 給水管通し穴

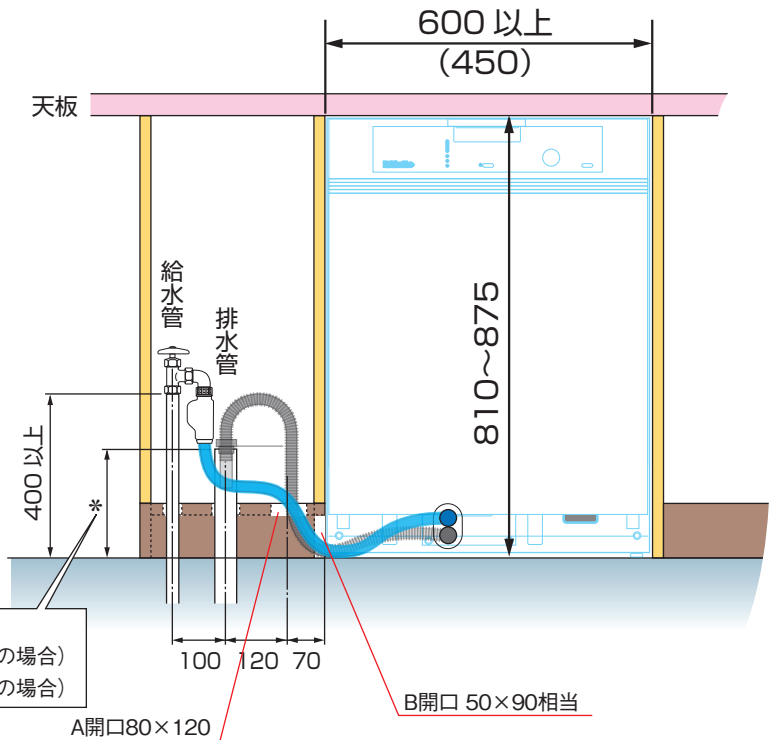
上から見た図



横から見た図



正面から見た図



*：排水管高さ
300以上 (HT40の場合)
400以上 (HT20の場合)

★この設備は代表的な方法です。現場に応じて給・排水管、コンセントの位置は変えてください。
★所要設備スペース内で記した寸法は、必ずお守りください。(これらより小さい場合、排水ホース折れや排水不良の原因になります。)

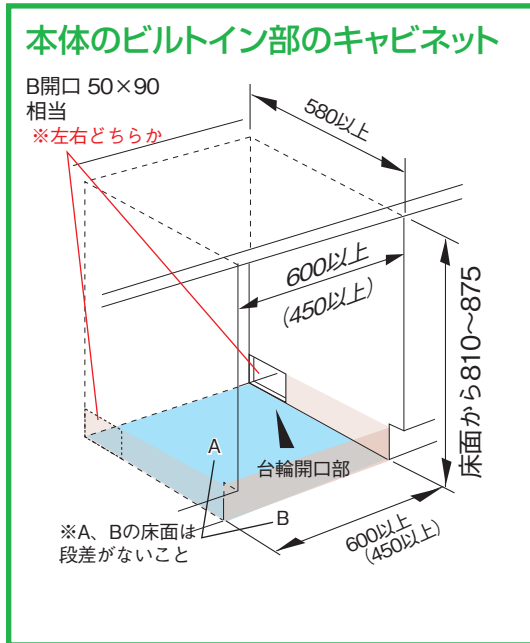
👉 横配列にすることで、デッドスペースになりやすいシンク下の収納奥スペース部などを有効にお使いいただけます。(※奥行き150mm以上ある場合)

配管例（縦配列の場合）

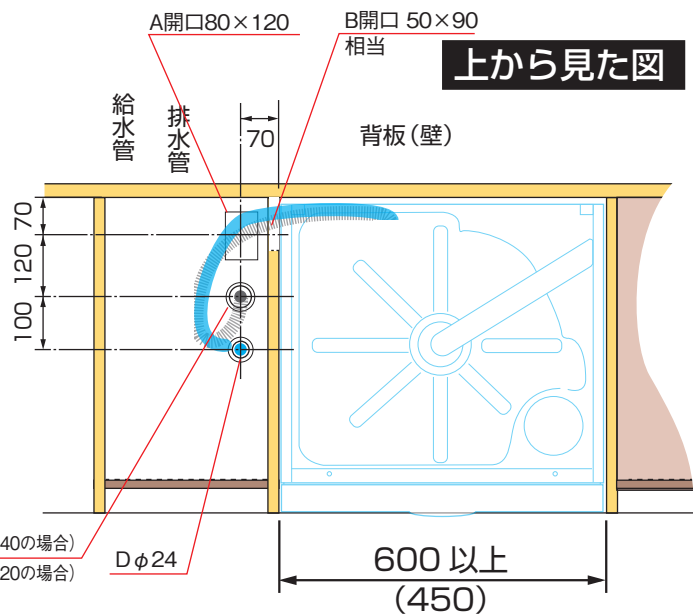
本体のビルトインと、所要設備のスペースのキャビネット加工・開口

※本体高さは805～870mmの調整が可能です。

※（ ）内の寸法は、機器横幅45cmタイプの所要スペース幅です。

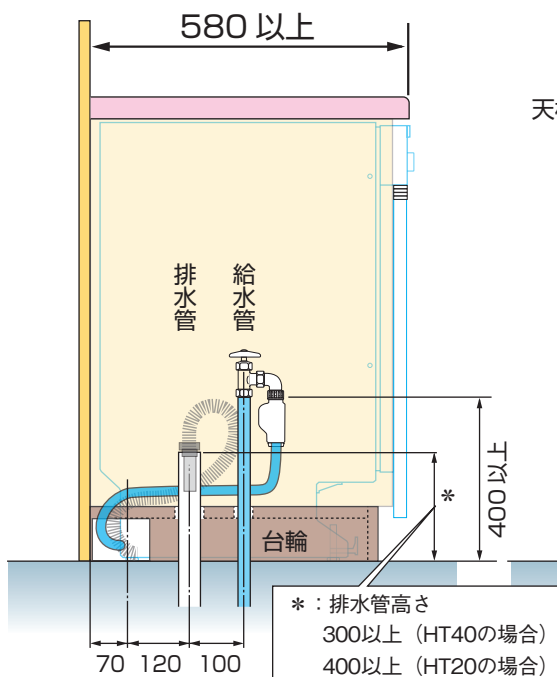


- A - 給排水ホース・電源コード通し穴
- B - 給排水ホース・電源コード引き込み穴
- C - 排水管通し穴
- D - 給水管通し穴

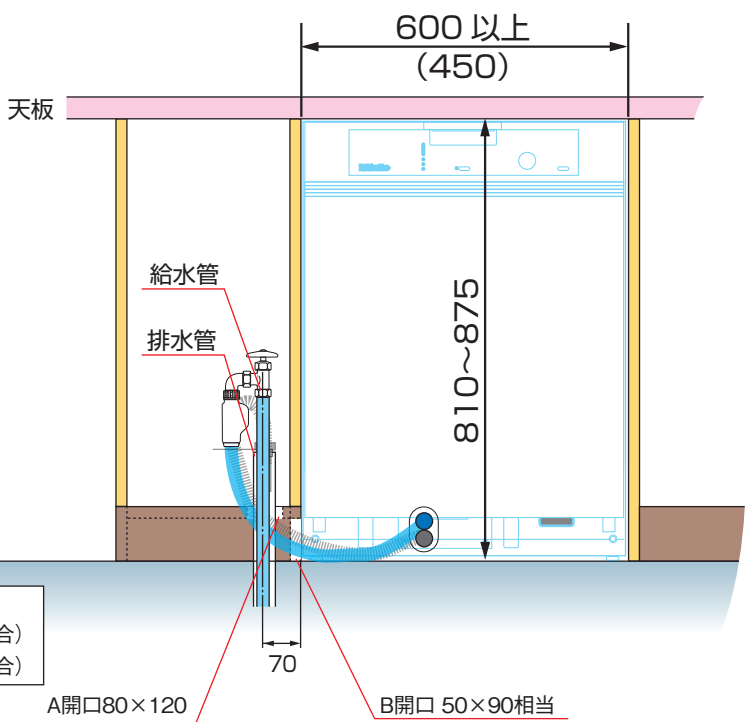


単位：mm

横から見た図



正面から見た図



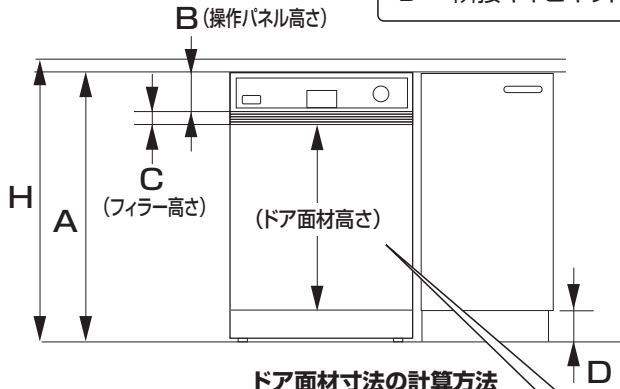
ドア面材の作成 (SCI、SCViシリーズ)



こちらは、あくまでもドア面材寸法の計算方法になります。
 巾木の高さや蹴込みの深さにより、開閉時にドア面材底辺が巾木とぶつかる可能性があります。
 7ページの「巾木の寸法」表と照らし合わせてご確認ください。

■ドア面材高さ(x)の出し方

A = H-(前だれを含む天板の厚み:開口高さ)
 B = 操作パネルの高さ(115mm)〈パネル寸法+チリ〉
 C = フィラーの高さ(7~35mm)〈未使用の場合は0mm〉
 D = 隣接キャビネットの巾木の高さ



ドア面材寸法の計算方法

隣接キャビネットに合わせる場合

■ ドア面材の高さ $x = A - (B + C) - D$

高さの範囲 = 545~645mm

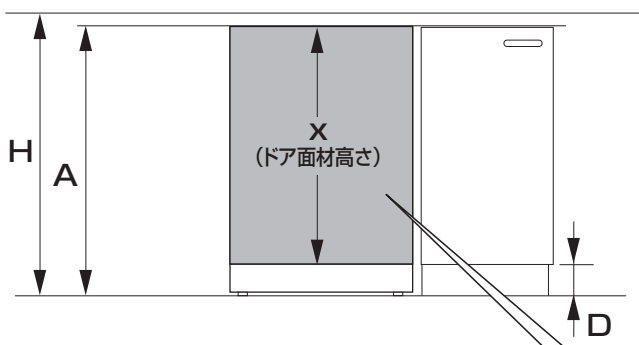
■ ドア面材の幅 = 最大で機器本体の幅 (各機種の外形寸法図でご確認ください)

■ ドア面材の厚み = 16 ~ 22 mm

※計算例 $A = 820\text{mm}$
 $B = 115\text{mm}$
 $D = 100\text{mm}$ のとき
 $x = 820 - 115 - 100 = 605\text{mm}$

※ ドア面材の高さ範囲 545~645mm は、**フィラーを含んだ寸法**になります。

※ フィラー使用の場合は、計算から出た高さ (645 以上の場合は、「645」としてください) より、さらにフィラーの高さを引いた数字が許容寸法になります。



オールドア(フルフェイス)タイプの場合

■ ドア面材の高さ $x = A - 5$ (チリ) $- D$

※高さの範囲 = 655~755mm

ドア面材のみ

■ ドア面材の幅 = 機器本体の幅 (各機種の外形寸法図でご確認ください)

■ ドア面材の厚み = 16 ~ 22 mm

■ ドア面材の重さ

60cmタイプ→8.5kg(最重量)~1kg(最軽量)

45cmタイプ→6.5kg(最重量)~1kg(最軽量)

巾木の作成とケコミカバーの取付け

■巾木の寸法 (巾木のカット…通し巾木の場合)

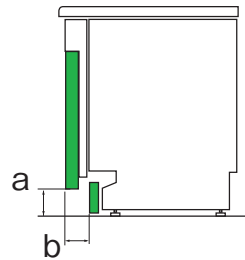
本体高さ=810mm b mm (蹴込みの深さ)

a mm (巾木の高さ)		40	50	60	70	80	90	100
150(ドア材545mm)		124	124	128	/	/	/	/
140(ドア材555mm)		118	120	122	128	/	/	/
130(ドア材565mm)		112	112	114	118	124	/	/
120(ドア材575mm)		104	104	106	108	114	124	/
110(ドア材585mm)		98	98	98	102	108	114	122
100(ドア材595mm)		94	94	96	98	104	112	118
90(ドア材605mm)		80	80	82	84	88	94	100
80(ドア材615mm)		70	70	72	72	76	80	86

表の見方(例)

…機器本体の高さ = 820mmで、ドア面材高さが545mmの場合

- 巾木の高さ:160mm←蹴込み(b寸法)は70~100mm
- 巾木の高さ:140mm←蹴込み(b寸法)は60mm



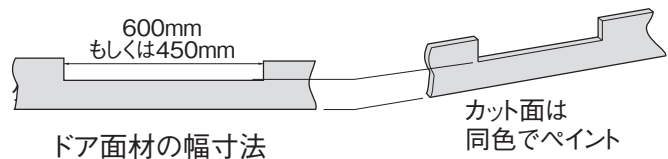
本体高さ=820mm b mm (蹴込みの深さ)

a mm (巾木の長さ)		40	50	60	70	80	90	100
160(ドア材545mm)		138	138	140	/	/	/	/
150(ドア材555mm)		130	132	132	138	/	/	/
140(ドア材565mm)		118	118	122	126	132	/	/
130(ドア材575mm)		116	116	118	118	124	128	/
120(ドア材585mm)		103	108	110	112	118	124	132
110(ドア材595mm)		93	98	100	102	106	110	116
100(ドア材605mm)		88	88	88	90	94	96	104
90(ドア材615mm)		82	82	82	84	86	90	96

例 本体高さ = 815mm
巾木高さ = 70mm (蹴込み深さ 45mm) の場合
ドア面材高さ = 620mm になります。

本体高さ=860mm b mm (蹴込みの深さ)

a mm (巾木の長さ)		40	50	60	70	80	90	100
180 (ドア材555mm)		162	164	166	172	/	/	/
170 (ドア材565mm)		154	156	160	162	170	/	/
160 (ドア材575mm)		146	148	150	154	160	166	/
150 (ドア材585mm)		136	136	138	146	152	160	176
140 (ドア材595mm)		128	130	132	134	138	144	150
130 (ドア材605mm)		120	120	122	124	128	132	140
120 (ドア材615mm)		108	112	114	116	120	124	132
110 (ドア材625mm)		100	100	102	104	108	110	118
100 (ドア材635mm)		90	90	90	94	96	100	106
90 (ドア材645mm)		80	80	80	84	86	90	96



- ドア面材がぶつからないよう、巾木をカットします。巾木の高さや蹴込みの深さによってカットの寸法は異なります。
- 巾木のカットは、左の表の巾木の高さ(a)と蹴込みの深さ(b)の関係を参考に、寸法出ししてください。

注1:上記の表は、フィラーを抜いた寸法です。フィラー使用の場合は、本体高さ、または、巾木高さが変わりますのでご注意ください。
注2: オールドア(フルフェイス)タイプのドア高さは、上記寸法に+110mmになります。

付属の巾木(ケコミカバー)を取り付ける場合

- ドア面材がぶつからないよう巾木をカットします。巾木の高さや蹴込み深さによってカットの寸法は異なります。

